

点検・運転チェックシート

●この「点検・運転チェックシート」は製品を安全かつ正しくご使用いただくためにご利用ください。
修理を依頼される場合には添付していただけますようお願い致します。(必要に応じコピーしてお使いください。)

機種名	使用開始年月日	製造No. (本体定格銘板下のシリアルNo.)	No.(複数台ご使用の場合)
PJ-	年 月 日		

■電源を入れる前の点検 (※点検は必ず差込プラグを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。)

	点検箇所	点 検 内 容	点 検 日 付 / 結 果				処 置
日常の点検	外 観	破損、変形、落下痕のないこと。					修理/内部点検
	電源コード	プラグ、コード、プロテクターの損傷のないこと。					修 理 / 交 換
	フィルター	目詰まりのないこと。					清 掃 / 交 換
	内 部	異物の混入のないこと。 (本体を持ち、振った時に異音がないこと。)					修理/内部点検
定期的な点検	ヒーター	ヒーター線の伸び、緩み、変形のないこと。					修 理 / 交 換
	マイカセット又はセラミックペーパー	焼損、剥がれ等の破損のないこと。					修 理 / 交 換
	カーボンブラシ	5mm以下にすり減っていないこと。					修 理 / 交 換

■電源を入れて点検 (※異常がある場合、または違和感を感じた場合はすぐに運転を停止し、処置を行ってください。)

電源投入後	確認項目	点 検 内 容	点 検 日 付 / 結 果				処 置
	運転音	異常音(モーター音、金属音等)のないこと。					修理/内部点検
	振 動	大きな振動がないこと。					修理/内部点検
	風の吹出し	風量、音等に変動のないこと。					修理/内部点検
	異常過熱	トッテ、電源コード、差込プラグの付け根等が過熱していないこと。					修 理 / 点 検
	その他	違和感、異常など。					修 理 / 点 検

■ご使用後は

本体を冷ます	必ず送風運転(5分以上)を行ってください。
--------	-----------------------

■その他の注意

アタッチメント	本体に対応した、指定のアタッチメントを使用すること。アタッチメントは変形、破損していないこと。
吸込口	塞いだり、空気が吸込みにくくなる状態で使用しないこと。
熱風吹出口	加熱対象物に極端に近づけたり、吹出口が塞がるような使い方をしないこと。
スイッチ操作	スイッチを頻繁に入切させない。外部から入切させるような制御は行わない。
固定運転	本体を固定したり、置いたまま運転しない。※無人では絶対に運転しないこと。

SURE

株式会社 石崎電機製作所

東 日 本 営 業 所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15

TEL.03-5687-7031

西 日 本 営 業 所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7

TEL.06-6541-3893

シュアプラジェット

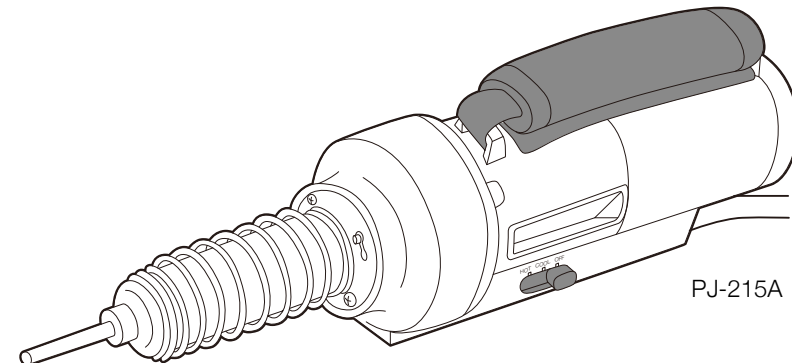
PJ-215A・PJ-216A・PJ-218A

より確かなものを……

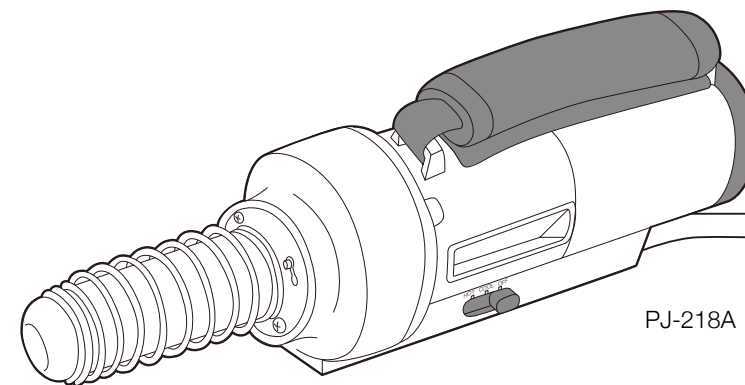


取扱説明書

このたびはシュアプラジェットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように、所定の場所に必ず保管してください。



PJ-215A



PJ-218A

もくじ ページ

安全上のご注意 1

各部のなまえ 3

正しい使い方 (その1) 4

正しい使い方 (その2) 5~6

お手入れの方法 7

本体外観寸法図 8

別売品一覧 9

仕様 10

アフターサービスについて 10

点検・運転チェックシート 裏表紙

特 長



PJ-215A/熱溶接加工機 (吹き出し口極細タイプ)

PJ-216A/熱風加工機 (ヒーター4種類交換タイプ)

PJ-218A/熱風加工機 (電子温度調節タイプ)



安全上のご注意

●表示と意味は次のとおりです。ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。







 警告	この表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近付いた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近付いた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

●具体的な絵表示には次の意味がありますので十分に理解してお読みください。

	禁止 (してはいけないこと) を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。
	強制 (必ずすること) を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。

警告

●人や動物、燃えやすい物などに使用しない。 火災、感電、やけどなどの原因になります。  使用禁止	●火薬、揮発性、燃えやすい物のある所では使用しない。 爆発、火災の恐れがあります。  使用禁止
●ヘアードライヤーとして使わない。 やけど、火災の原因になります。  使用禁止	●水中や水につけたり、水をかけたりしない。 漏電やショートし、感電の原因になります。  禁止
●修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わない。 また、改造しない。 感電、発火や異常動作してけがをすることがあります。  分解禁止	●子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使わない。 やけど、感電、ケガをする恐れがあります。  禁止

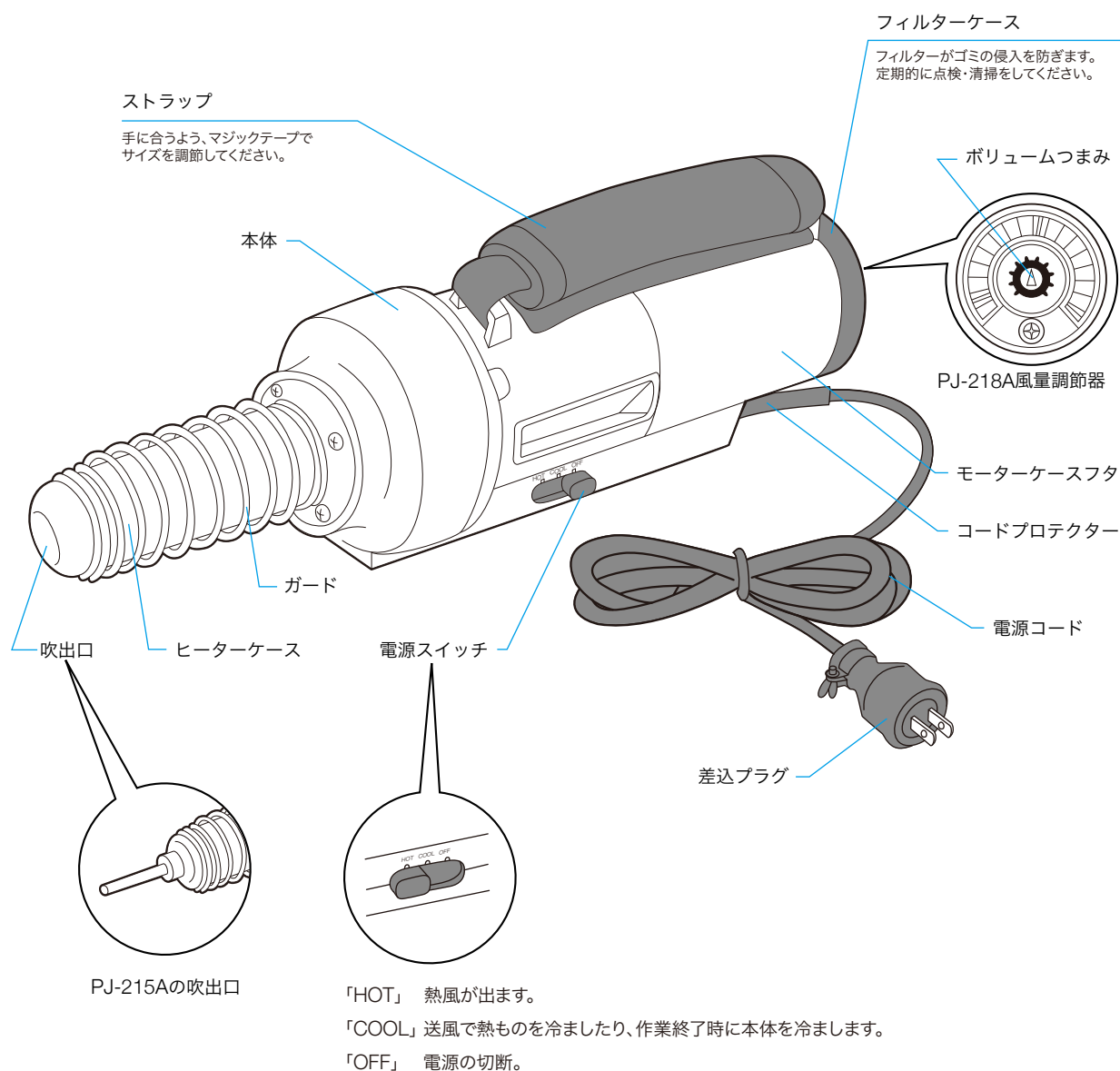
注意

●本機の使用目的以外使用しない。 火災、感電、やけどなどの原因になります。  使用禁止	●落下などにより破損した場合は、差込プラグを抜き修理を行う。 感電、火災事故の原因になります。  必ず行う
●使用中や使用直後はヒーター周辺部に触れたり、燃えやすいものに近づけたりしない。 やけど、感電、火災の原因になります。  接触禁止	●指定電圧以外では使用しない。 火災、感電の原因になります。  指定以外禁止
●本機の吹き出し口や吸入口をふさいだり、異物を投入しない。 モーターやヒーターが異常発熱し火災の原因になります。  禁止	●部品交換の時は、必ず差込プラグを抜き、本機及びヒーター部分が冷めてから行う。 感電、やけどの原因になります。  必ず行う
●使用後はすぐに電源を切らない。必ず冷風運転を行い、本機を冷ます。 ヒーターの熱によりモーターが損傷したり、各部の寿命が著しく低下し、感電、火災の原因になります。  必ず行う	●差込プラグを抜く時は、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。 感電、ショート、発火の原因になります。  プラグを持って
●使用直後に密閉された箱や引き出しの中に入れてない。 火災の原因になります。  禁止	●使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。 けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。  プラグを抜く
●通電したまま床上や机などに放置しない。 火災、やけどの原因になります。  禁止	●電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電、ショート、発火の原因になります。  使用禁止
●電源の開閉は頻繁に行わない。 スイッチやモーターの負担が大きくなり、著しく寿命が低下し、火災、感電、通電不良の原因になります。  禁止	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、たばねたりしない。 スイッチやモーターの負担が大きくなり、コードが破損し、火災、感電の原因になります。  使用禁止
●指定以外のアタッチメントを使用しない。 アタッチメントの改造や指定以外のアタッチメントの使用は、故障、火災、やけどの原因になります。  使用禁止	●濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。 感電事故の原因になります。  禁止
●据え付けて連続運転を行う場合は必ず周辺の安全を確認し、定期的に本機の運転状況を確認する。 火災、感電、やけど等の原因になります。  安全の確認	●部品交換は必ず定期的に行う。モーター、モーターブラシ、ヒーター、マイカなどは定期的に交換する。 火災、感電、やけど、通信不良等などの原因になります。  必ず行う
●使用中に布やシート、ビニールなど空気をさえぎるものをかけない。 火災の原因になります。  禁止	●保管する時は必ず本機を冷まし、差込プラグを抜く。 火災の原因になります。  必ず行う

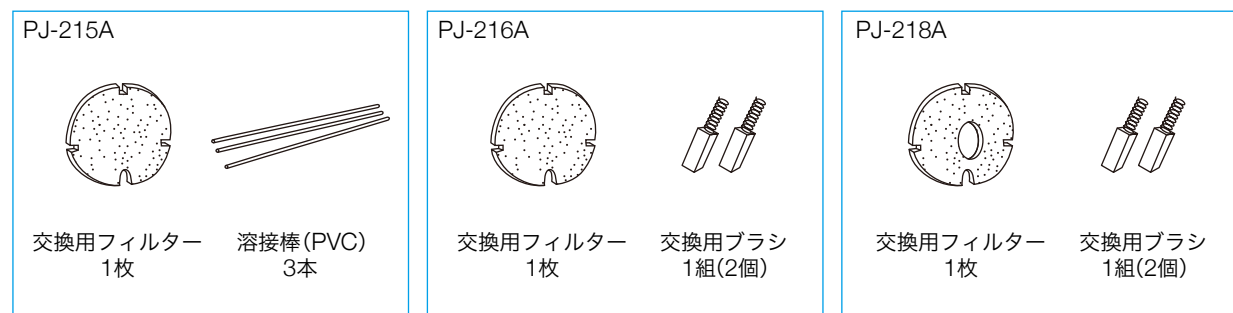
お願い

- 連続運転で使用する場合は、本機の状態や周辺機器の環境を十分に配慮しつつ、常に安全を確認しながら運転してください。
※周辺機器の環境とは本機の設置場所、生産ラインなどのベルト稼働状況などをいい、周辺機器に異常が発生した場合の回避策を必ずとってください。
- 本機は一般的な作業条件のもとで使用する工具であり、高温多湿地域や高地、寒冷地などでは十分な性能が発揮できない場合があります。
- ヒーター、モーター、モーターブラシ（交換タイプ）などの消耗部品は定期的に修理技術者によって、指定の部品で交換してください。（ブラシ交換は3回程度としてください。）また、フィルターは定期的に清掃をしてください。異常発熱したり、本機の故障の原因になります。
- 必ず修理技術者によって定期点検を実施してください。

各部のなまえ



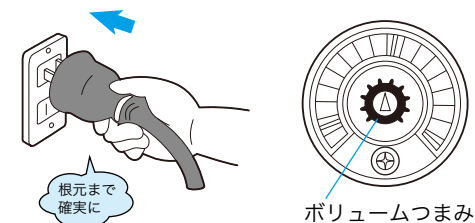
■付属品



正しい使い方 (その1)

1) 電源を入れる

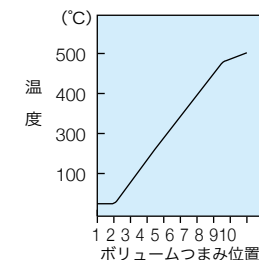
- ①電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- ②差込プラグを正しく配線されたコンセントに差し込みます。
- ③スイッチを「HOT」にします。
- ④温風温度は4～6分で最高温度に達します。



PJ-218A/温度調節機能付タイプ : 後部の空気入口にあるポリュームつまみで温度を調節して下さい。つまみの位置と温度の関係は右図の通りです。

注意)アタッチメントを使用した場合や風量調節機のメモリ位置により温度は変化します。

PJ-216A/ヒーター交換可能タイプ : ヒーター交換で目的の温度を得る事ができます。使用目的別のアタッチメントとヒーターの関係は5頁のとおりですのでご参照ください。



2) 作業をする

PJ-216A・PJ-218A
加熱しようとするものに近づけ、適切な距離を保って、均一に熱風をあてます。

- 注意: 1) 局部的に加熱すると亀裂を生じる可能性があります。また、吹出口を加熱するものに接触させたり、近づけすぎないでください。加熱するものが焦げたりすることがあります。
2) ストラップに指をしっかり入れ、落とさないようにしてください。

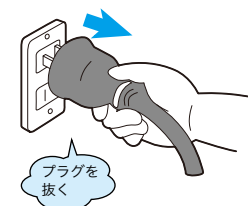
PJ-215A 溶接の作業

- ①溶接部から適度の距離を保ち溶接棒と溶接部を均一に加熱します。
- ②溶接棒を溶接部に埋め込むように押しつけます。
- ③目的の部分まで溶接ができたなら余った溶接棒を切断します。
- ④溶接可能なものは5頁の表をご覧ください。

- 注意: 1) 加熱しすぎると焼けたりし、目的の強度が得られません。
2) 不要材料で何回か練習することをおすすめします。

3) 作業を終了する

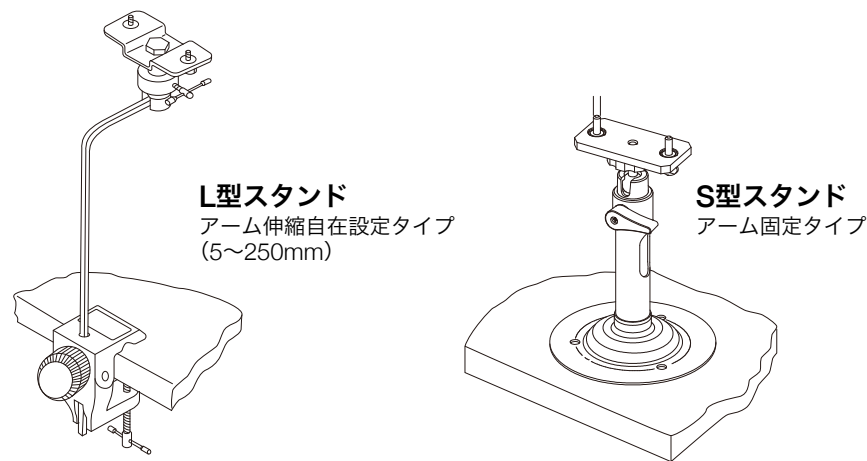
- ①スイッチを「COOL」にし、3～5分送風して高温になった本体内部を十分に冷まします。
- ②本体がよく冷めたら、スイッチを「OFF」にします。
- ③差込プラグをコンセントから抜きます。



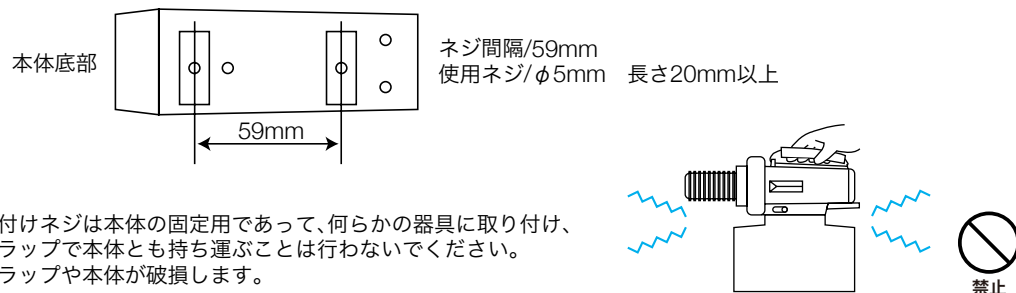
正しい使い方(その2)

■スタンド(別売品)の使用

①本体を固定して使用するときはL型・S型スタンドをご使用ください。



②他のものに固定するときは本体の底部にある取り付けネジ穴を利用してください。



■PJ-216A 交換ヒーターと使用アタッチメントの温風の関係

アタッチメント ヒーター	未装着	AT-11	AT-21	AT-31	AT-22+AT-43
1200W	600°C	550°C	使用不可	使用不可	使用不可
950W	580°C	520°C	600°C	530°C	使用不可
650W	410°C	400°C	430°C	400°C	使用不可
400W	280°C	250°C	290°C	280°C	550°C

標準品のヒーターは1200Wです。950W/650W/400Wは別売です。

■PJ-215Aで溶接可能なもの

◎/容易にできる ○/できる

材料名	PVC	ABS	PS	PE
溶接性	○	○	○	◎

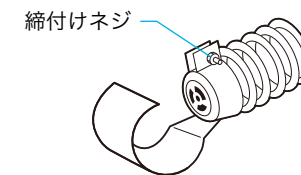
注意・溶接材料は面取りを行い、油分やゴミを取り除いて作業すると仕上がりがきれいに、丈夫にできます。
・溶接棒は溶接される樹脂に応じて選択してください。
・PJ-216A、PJ-218Aで溶接するときは、溶接用具としてAT-22とAT-43のセットで使用することをおすすめします。(詳細はアタッチメント適合表をご覧ください。)

注意・適切な溶接棒で行わないと十分な強度が得られません。
・溶接部を焦がすと溶接強度が落ちます。

■アタッチメント(別売品)の使用

使用上の注意

- 1) アタッチメントを使用する場合は、作業目的に沿ったものを吹出口に取り付けます。
- 2) アタッチメントを使用する時は、締め付ネジでしっかり取り付けてください。
- 3) ガードは取り外さないでください。やけどの原因になります。



■アタッチメントの特長

AT-11(スプーンノズル)	<p>取縮チューブや丸い棒状のものを周囲から均一に加熱するときに使用します。 熱風を回転させるので加工物を回転させずに全体を取縮させることができ大変に便利です。</p> <p>注意) PJ-215Aには取付できません。</p>	AT-31(手形ノズル)	<p>シートの溶着や線状に加熱するときに使用します。シートを溶着する時は図のように重ねたシートの上にアタッチメントの先端を入れシートが溶けたらローラーで圧着します。</p> <p>注意) PJ-215Aには取付できません。 PJ-216Aの1200Wヒーターのときは使用できません。</p>
AT-21(熱風集中ノズル)	<p>溶接などの局部的に加熱するときに使用します。 ノズルの根元周囲の穴は、余分な空気を逃すためです。ふさがらないでください。 ヒーター切れが発生します。</p> <p>注意) PJ-215Aには取付できません。 PJ-216Aの1200Wヒーターのときは使用できません。</p>	AT-22+43	<p>溶接のときに使用します。</p> <p>注意) PJ-216Aの400Wのヒーターのときはのみ使用できます。 PJ-215Aには取付できません。 1200W/950W/650W/ヒーターのときは使用できません。</p>

※機種およびヒーターにより使用できないアタッチメントがありますので使用前に必ず下記の適合表を参照してください。

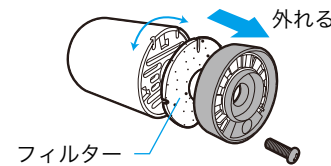
■アタッチメント適合表 (○使用可 ×使用不可)

アタッチメント 型番とヒーター	AT-11	AT-21	AT-31	AT-22	AT-43
PJ-218A 1200W	○	○	○	○	○
PJ-216A 1200W	○	×	×	×	×
950W	○	○	○	×	×
650W	○	○	○	×	×
400W	○	○	○	○	○
PJ-215A 400W	×	×	×	×	○

お手入れの方法

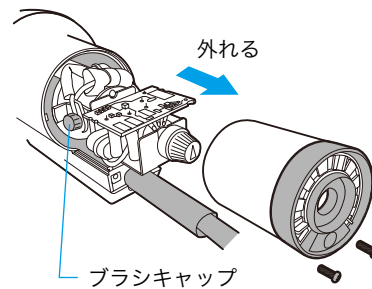
1) フィルターの清掃/交換

- ①定期的に清掃を行ってください。
- ②フィルターケースのネジを外し、左に回すとフィルターが交換できます。
- ③ホコリはよく叩いて落とし、油性の汚れは中性洗剤で洗って、乾燥後本体に取り付けてください。



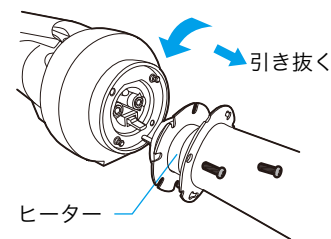
2) モーターのカーボンブラシ点検/交換

- ①月に1~2度点検を行い、400~500時間経過したら、ブラシを交換してください。
- ②フィルターケース、モーターケースフタの順に外します。モーターケースフタはコードプロテクター両サイドのネジ2本を緩めて外します。
- ③モーター後部両サイドのブラシキャップを外すとブラシが取り出せます。
- ④ブラシの長さが3mm以下になっていたら交換の目安です。
- ⑤ブラシ交換の回数は3回程度までとし、その後はモーターを交換してください。
注意・ブラシは2本同時に交換してください。
・ブラシの交換をせずに使用し続けるとモーターの破損が発生します。



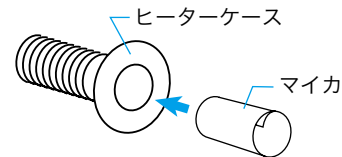
3) ヒーターの交換

- ①ヒーターケースの2本のネジを外し、左に回すとヒーターが出ます。
- ②ヒーターの根元を持って引き抜きます。
- ③新しいヒーターを挿入します。
ヒーターケースはネジ穴に合わせ、本体に押しつけるようにし、右に回します。
- ④ヒーター交換のときに、ヒーターケース内のマイカの交換を行うことをおすすめします。
注意：パッキン、マイカなどを忘れないようにしてください。



4) マイカの交換

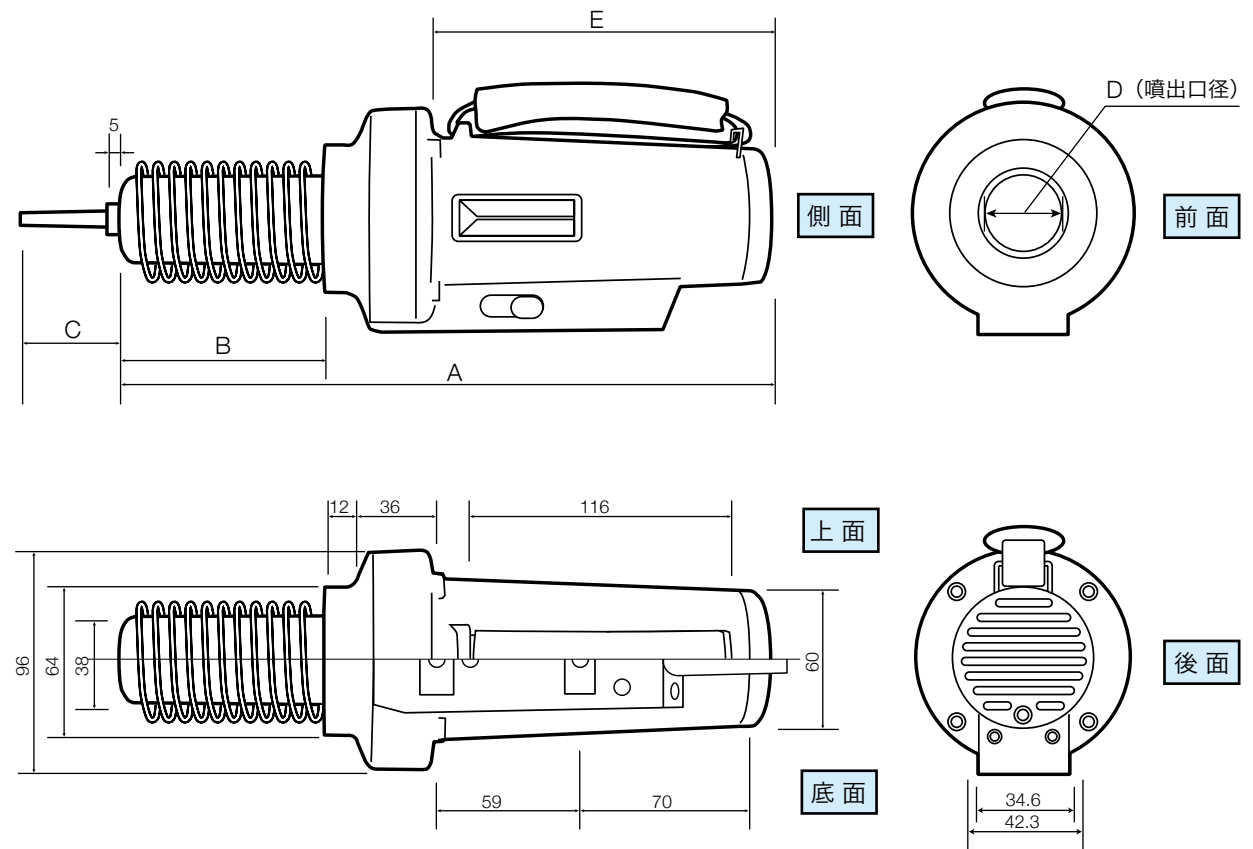
- ①ヒーターケースの2本のネジを外すと、ケース内のマイカが交換できます。
- ②ヒーター交換を行う時に、マイカの交換をする事をおすすめします。
※ PJ-216A、PJ-218A はセラミックペーパーとなります。



■消耗部品一覧

	PJ-215A	PJ-216A	PJ-218A
フィルター (1個)		○	○
カーボンブラシセット (2個)		○	
ヒーターセット (ポピン付き)	400W	1200W 950W 650W 400W	1200W
マイカ (1枚)	○	PJ-216A、PJ-218A はセラミックペーパーとなります。	

本体外観寸法図

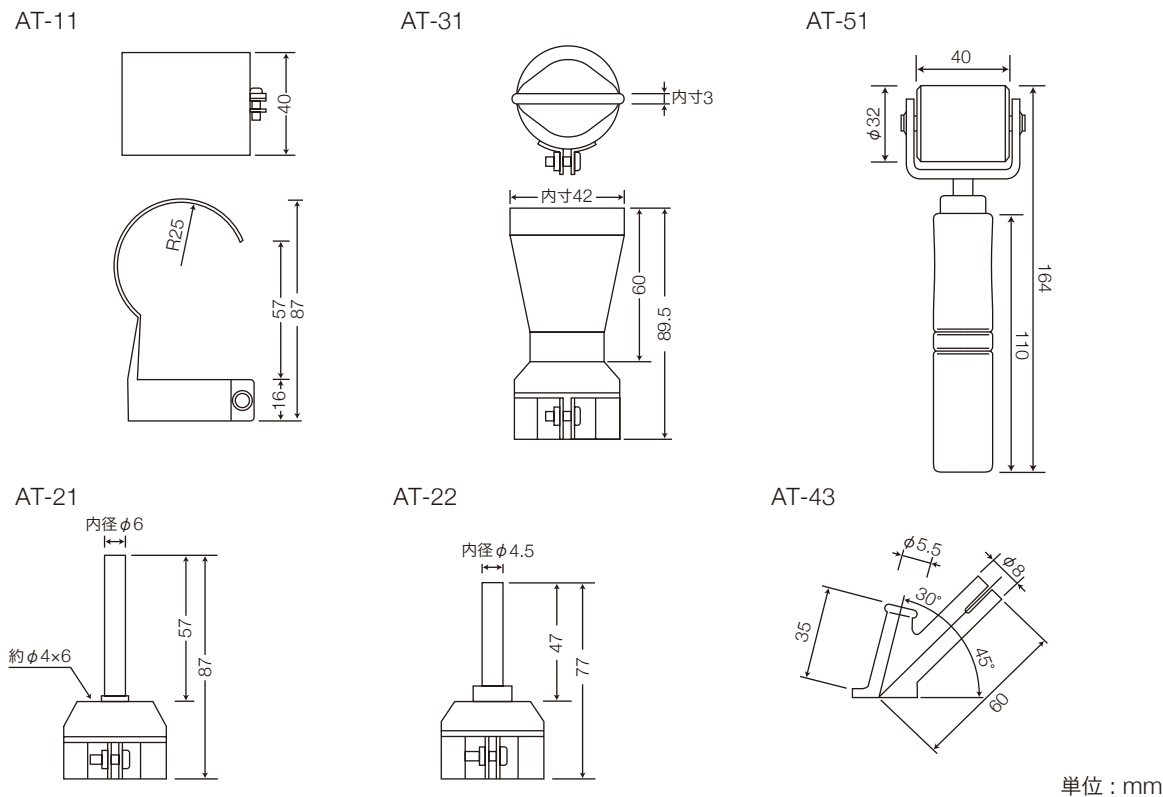


単位：mm

	A	B	C	D	E
PJ-215A	273	85	47	∅4.5	141
PJ-216A	280	87	—	∅25	141
PJ-218A	290	97	—	∅20	145

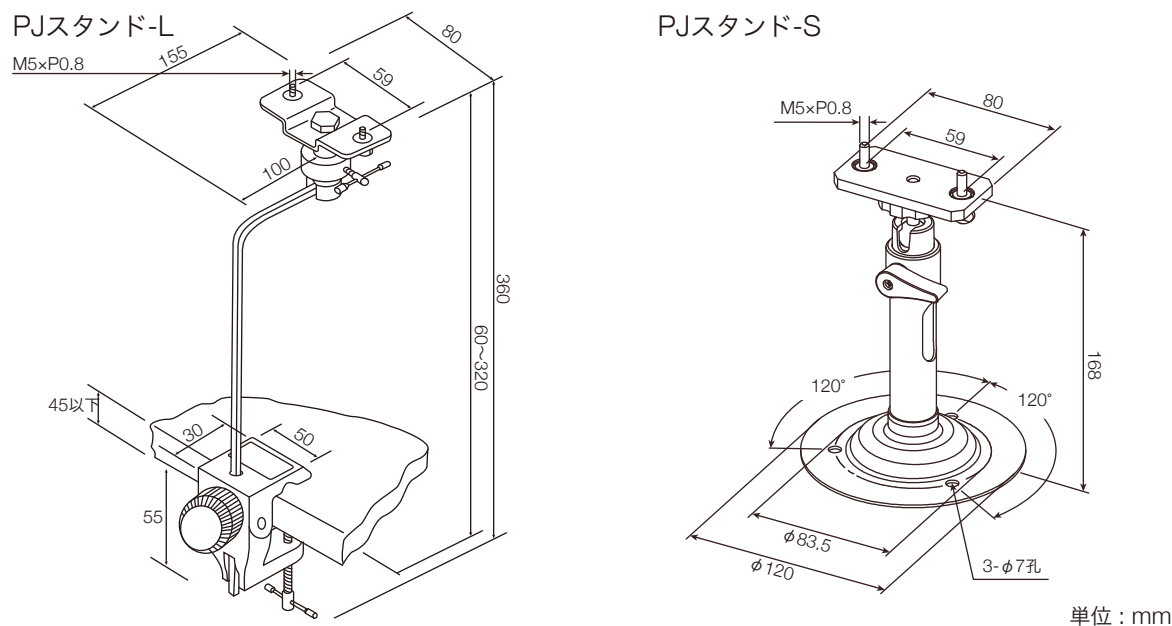
別売品一覧

■アタッチメント (6頁のアタッチメント適合表を参照して下さい)



単位：mm

■スタンド



単位：mm

仕様

型番	PJ-215A	PJ-216A	PJ-218A
定格消費電力	100V-400W 50/60Hz	100V-1200W 50/60Hz	
スイッチ	スライド式3段切り換えスイッチ (HOT・COOL・OFF)		
保護装置	—	サーモプロテクター	電子式温度調節器 サーモプロテクター
温風温度	約500°C	約600°C	室温～約500°C
温度測定位置	吹き出し口より3mm	吹き出し口より10mm	
風速	—	290m/min	風量調節器全開 1240m/min 風量調節器全閉 960m/min
風量	—	0.14m³/min	風量調節器全開 0.4m³/min 風量調節器全閉 0.3m³/min
風圧	170mmAq		
電源コード	1.25mm²キャブタイヤコード		
電源コード有効長	約3m		
寸法本体径×長さ×高さ	96×320×96(mm)	96×280×96(mm)	96×290×96(mm)
質量 (電源コード除く)	約1000g		約1100g
付属品	交換用フィルター1枚 溶接棒 (PVC) 3本	交換用フィルター1枚 交換用ブラシ (2本) 1組	

アフターサービスについて

- ◇ 本機の使用中に異常が生じた場合は、差込プラグをコンセントから引き抜いて使用を中止し、お求めになった販売店、電気店、工具店へご相談ください。
- ◇ ご相談される時は、お買い上げの時期、品名、型番をお知らせください。
- ◇ 裏表紙の「点検・運転チェックシート」欄へのご記入をおすすめします。

シュアお客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL 048-931-3110	受付時間 月～金の9時～12時 13時～17時 (祝日・年末年始夏季などの休業中を除く)